

講義名	公衆栄養学
開講学年	1
単位	2

授業の達成目標	1. わが国の国民の健康状態、栄養・食生活問題の現状と課題、対策を理解し、栄養士として果たすべき役割を考え、実践する力を養う。 2. 公衆栄養活動におけるプログラムの流れを理解し、プログラムの各項目を実施できるための知識を習得する。 3. 公衆栄養活動関係法規を理解する。
授業の概要	地域、集団の健康・栄養問題の解決に取り組むため、わが国の国民の健康状態、栄養・食生活問題の現状と課題や対策を学ぶ。 公衆栄養プログラムを立案し、実施するための方法や理論を講義する。
授業形式	講義，演習

授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	公衆栄養学の概念-1	公衆栄養学の概念・目的 公衆栄養活動の歴史-1	公衆栄養学とは
2	公衆栄養学の概念-2	公衆栄養活動の歴史-2 公衆栄養活動の現状と課題	公衆栄養活動の現状
3	わが国の健康・栄養問題の現状と課題-1	国民の健康状態の変遷 少子・高齢化社会の現状と栄養・健康政策	予防医学の概念 合計特殊出生率，平均寿命，健康寿命
4	わが国の健康・栄養問題の現状と課題-2	わが国の食生活の変遷	国民健康・栄養調査， 食生活の変化， BMI と内臓脂肪症候群
5	わが国の健康・栄養問題の現状と課題-3	食料需給と自給率 食料需給の現状と課題	食料自給率，食品ロス，フードマイレージ，地産地消
6	公衆栄養マネジメント-1	公衆栄養マネジメント 公衆栄養スクリーニング・アセスメント 公衆栄養プログラムの目標設定・評価	公衆栄養マネジメントサイクル（PDCA），社会調査法，プログラム（短期・中期・長期目標，改善目標，評価など）
7	公衆栄養マネジメント-2	公衆栄養プログラムの展開 公衆栄養活動と行政栄養士の業務、公衆栄養活動	行政栄養士の活動とその業務（都道府県，保健所設置市および特別区，市町村）

8	公衆栄養マネジメント -3	食環境づくりのためのプログラムの展開 演習	食品表示法, 食品表示基準, 特別用途食品, 特定保健用食品など
9	栄養疫学-1	栄養疫学の概要 栄養疫学調査の内容-1 疫学的手法	観察研究 (横断研究, コホート研究など), 介入研究 (無作為割付比較試験など)
10	栄養疫学-2 わが国の栄養・食料政策 -1	栄養疫学調査の内容-2 食事調査の方法と活用 わが国の栄養士・管理栄養士制度	食事調査方法 (食事記録法, 24 時間食事思い出し法, 食物摂取頻度調査法など) 栄養士, 管理栄養士
11	わが国の栄養・食料政策 -2	公衆栄養活動と関連行政・法規	健康・栄養行政 法規 (健康増進法・食育基本法・地域保健法など)
12	わが国の栄養・食料政策 -3	わが国の健康づくり施策の変遷 栄養指導のガイドライン	健康日本 21, 食育推進計画, 食生活指針, 食事バランスガイドなど
13	わが国の栄養・食料政策 -4 諸外国の健康・栄養政策 -1	健康指導のガイドライン 栄養・食料水準の現状 諸外国の栄養政策	健康づくりのための身体活動・運動ガイド, 睡眠ガイド, 健康に配慮した飲酒に関するガイドライン
14	諸外国の健康・栄養政策 -2	世界の人口と食料・栄養問題 国際機関の健康・栄養政策 諸外国の栄養士制度	PEM, NCDs, SDGs 世界保健機関 (WHO), 国連食糧農業機関 (FAO), 国際栄養士連盟 (ICDA)
15	公衆栄養学のまとめ	単元のポイント (復習) と質疑応答	

事前・事後学習の内容	事前に教科書にて学習内容を確認する。
成績評価の方法	提出物と*授業態度: 10% 学期末試験: 90% *演習の取り組み態度, 忘れ物, 私語, 不必要な携帯電話の使用など、問題のある場合減点とする 評価基準は合計 90 点以上: S、85～89 点: A+、80～84 点: A、75～79 点: B+、70～74 点: B、65～69 点: C+、60～64 点: C、59 点以下: D とし、D は不合格とする。 ただし、出席が 2 / 3 未満の場合は評価をせず不合格とする。
参考書	適宜、資料、プリントの配布
教材	教科書 (エスカパーシク 公衆栄養学: 同文書院)